



# まなキキ通信

ふみだしているんだよ号

2025年6月発行

発行：Learning Crisis研究会  
お問い合わせ：fosterplan@learningcrisis.net



あつという間には時は流れ、あじさいが咲き始める時期になりました。  
あじさいと言えば、紫や青、また緑など、様々な花の色を見ることができますが、実は咲く場所の土の成分量によって色が決まるのだとか。  
さて、今月号では探検部の活動報告やブックリレーに加え、新たな一步を踏み出したメンバーたちの現在の思いや、まなキキの事務所である「うにぶ」をご紹介します新企画など、様々な「初めて」が詰まっています。  
これからどんな「色」に変化していくのか、お楽しみください！

## 探検部活動報告



4/27(日)にまなキキ探検部は新歓ハイキングを行いました。今回の目的地は東村山市にある八国山緑地と多摩湖周辺でした！天気も良く、気持ちよくお散歩することができました。八国山の公園では、外来植物を抜き取って入れるための「外来植物ポスト」を見つけました。私たちには見分けることが難しそうなこと、よく見るような植物が外来植物だったこと、生物や昆虫だけでなく植物でも外来種による環境問題があることなど多くの学びが得られました！

新しく探検部の仲間を増やしていくことが一番の課題なので、是非皆さんのご参加お待ちしております♪ (📝あゆみーが)

## 【まなナビ・ブックリレー】



皆さま、お久しぶりです！前回のまなキキ通信から早2か月、桜の花は眩しい新緑へと姿を変え、お店には宝石のようなさくらんぼが並ぶようになりました。

ところで、このさくらんぼ。「桜桃(おうとう)」とも言いますが、かの文豪・太宰治を偲ぶ日である6月19日が「桜桃忌」と呼ばれていることをご存じでしょうか。何でも、彼と親交が深かった小説家・今官一が、太宰が死の直前に発表した短編『桜桃』にちなんで名づけたのだとか。

さて、みなさんは太宰治と聞いて、どの作品を思い浮かべるでしょうか。有名なお話がたくさんあるため、人によって出てくる作品は様々かもしれません。今回は、中でも私の大好きな作品『葉桜と魔笛』についてお話をさせてください。

物語の舞台は葉桜の季節、ある老婦人が35年前の出来事を語り始めます。20歳だった彼女は、明るく美しい妹・厳酷な父親と暮らしていました。しかし、この頃妹は病気で余命わずかかと宣告されており、そのことを思う度に辛くてたまりませんでした。そんなある日、妹のダンスを整理していると、緑色のリボンで結ばれた手紙の束を発見し、その手紙の内容に思わず目を見張ります。なんと妹はある歌人の男性と深い仲にあり、こっそりと文通をしていたのです。こんなことが、あの厳しい父に知られたらどうなることか。しかも病気のことを知るや、相手の男性は別れを切り出し、その後一切連絡を寄こしていない様子です。このことを知った彼女は、妹のためにある計画を実行するのですが…。

手紙の秘密を通して明らかになる妹の切ない思い、互いを大切に思うからこそ生まれるふわりとした言葉の美しさに、いつも胸がきゅっと締めつけられます。

さて、今年も桜桃忌がやってきますが、太宰のお墓が三鷹市のお寺にあることをご存じでしょうか。実は桜桃忌では、お墓の『太宰治』の文字にさくらんぼがはめ込まれていたり、大量のさくらんぼがお供えされているといったユニークな光景を目にすることができます。もし機会があれば、さくらんぼを手に彼のお墓を訪れてみてはいかがでしょうか。(📍すいれん)

## 記事作成の意気込み・感想

現在、とても素敵な記事を執筆している方々に、意気込みや完成した感想をお聞きしました。

お三方ともとても面白いテーマで、読むのが本当に楽しみです！

・梅雨の季語は、梅雨という大きな括りから、瞬間や状況ごとに言葉が派生しているためかものすごく多くありました。全部書ききれなかったのが心残りです。(📧O友)

・私は、オノマトペと俳句についての記事を執筆します。この記事を通じて、俳句にオノマトペが加わることで生まれる表現の広がりを感じていただけたら嬉しいです。(📧おかか)

・今、初めての記事を編集中なのですが、私が興味あること、知ってほしいなと思うことをみなさんにお届けできればと考えています。今のところ、動物園とそこに住む動物たちの紹介をした「どうぶつレポート」と、今年の11月に行われる東京2025デフリンピックについての記事を書いております。特にデフリンピックは私がボランティアとしても携わるものなので、競技の魅力についてや、大会が終わった後には振り返りのようなことも記事でできればいいと考えています。(📧きらっぺ)

## 【連載企画】まなキキ・うにぶって、なんだっけ!?

### ～改めましての、ご紹介①～

まなキキの物理的な拠点、「まなキキ・うにぶ」が完成してから約2年が経ちました。できたばかりの頃は、嬉しくなって何度も説明して回ったのですが、2年も経つとまなキキのSNSでもついつい、何の説明もなしに「うにぶ」という言葉を使ってしまいます。それだけ、私たちにあって、うにぶが身近な場所になりすぎたという証左でもあるのですが、「そういえば、うにぶってなんぞや?」という声を取りこぼしているような気がして、改めてこの場をお借りして、実はこんな場所だったんですと語らせて下さい。長文になってしまいましたので、合計3回に分けて連載します。

うにぶの正式名称は、「まなキキ・ユニベルシタス」と言います。ユニベルシタス……。あまり、聞き覚えのない言葉かもしれません。ユニベルシタスとは、ラテン語の「Universitas」からきた言葉で、同じ目的を持った共同体を意味します。Universitas……。この文字の並びを見て、「おや?似ている英単語があるような?」と、思った方はご名答です。ユニベルシタスの聞き覚えはなくとも、よく似ている英単語。そうです。University、大学ですね。Universitasというラテン語が元になって、University (大学) という英語になったと言われています。つまり、大学とは本来、これを学びたい!と思った者が集う共同体という意味を持っていたということです。(H松)

## 今月のひとこと

まなキキメンバーの中で大学を卒業し、新たな環境に踏み出した先輩方に、今感じていること・伝えたいことをお聞きしました。



・4年間大変お世話になりました。特に、まなキキブレンド関連の活動が印象に残っております。試飲会等で、直接感想をいただいたり、購入者さんとお会いできて、とても楽しかったです。現在は、社会人として充実した日々を過ごしています。英語サロンでお会いしましょう。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。(📧クールバード)

・大学を卒業し、働き始めておよそ二ヶ月が経ちました。新しい環境での生活は慣れないことばかりで、中々生活習慣も掴めずにいます。企業でも公務員でもない少し特殊な職場のなかで、戸惑うことも多々ありますが日々いろいろな経験をしています。高校生のころ「好雪片片不落別処」という句を学びました。行き先も決めず舞い落ちているように見える雪は、しかし降るべき場所に降っているものです。これからも新しいことに出会い、迷いながら過ごすのだろうと思います。いまに素直に向き合い、自分のたどりつくべき場所に少しずつ向かっていくことができたらと思う毎日です。(📧メイ)

## 寄付・ご支援のお願い

まなキキは、さまざまな社会的な危機の中で、子どもたちが夢をかなえるための「学び」をあきらめず、がんばることをつづけられるよう、家庭学習支援や教材開発・発信などを通じて応援する活動に取り組んでいます。

まなキキ・ブレンド(コーヒー・ナッツ)の収益は、大学生による障害のある子どもたち向けの家庭学習支援のプロジェクトに使われます。同じコーヒーの香りの中で頑張っている、子ども・大学生たちの「夢」をぜひ応援いただけますと幸いです。

■ご寄付：金融機関名/多摩信用金庫  
支店名/恋ヶ窪支店  
金融機関コード/1360  
支店コード/044  
口座種別/普通預金  
口座番号/0251947  
カナ名義(カナ)/ローニングクライシスケンキウウカイ  
口座名義(漢字かな)/Learning Crisis 研究会

■コーヒーやナッツのご購入：  
お近くのまなキキ応援店、  
オンラインショップにて  
購入いただけます。

\*その他、各種研究プロジェクトは、各種研究助成金によって実施されています\*

